

学校運営協議会 議事録

校名	府立高槻北高等学校
校長名	青竹 二郎

開催日時	令和3年1月25日(月)14:30～16:10
開催場所	府立高槻北高等学校 2階 会議室
出席者(委員)	米津俊司会長、本村康哲委員、丹家 敬委員、中村利久子委員、石山浩二委員
出席者(学校)	青竹二郎(校長)、伊藤倫隆(教頭)、岩下幸司(事務長)、 本村眞章・相澤 崇(首席)、安田正彦(総合調整部長)、藤塚雅弘(書記)
傍聴者	0人
協議資料	冊子資料 令和2年度 第3回学校運営協議会次第 委員名簿ならびに本校出席者一覧 席図 資料編 1 令和2年度学校経営計画及び学校評価(案) 2 令和3年度学校経営計画及び学校評価(案) 3 令和2年度学校教育自己診断(生徒向)第2回集計結果 4 令和2年度学校教育自己診断(保護者向)第2回集計結果 5 令和2年度学校教育自己診断(教員向)第2回集計結果 6 令和2年度学校教育自己診断(自由記述)生徒向第2回 7 令和2年度学校教育自己診断(保護者)自由記述 8 令和2年度学校教育自己診断(教員)自由記述 9 授業アンケート結果一覧(教科別)令和2年前期・後期 10 令和2年度 第2回学校運営協議会 議事録
備考	

議題等(次第順)
1 開会宣言(教頭) 2 開会挨拶(校長) 3 授業見学 教志コース(視聴覚教室)「教志入門(英語)」関西外国語大学短期大学学生部長 藤林教授、 「世界史」野見山 教諭、「地学基礎」堺 教諭の授業見学を行った。 4 本校の現状と課題について 資料説明 令和2年度学校経営計画及び学校評価(案)の達成進捗状況(校長) 令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)(校長) 令和2年度学校教育自己診断結果・令和2年度授業評価アンケート教科別結果(本村首席) 5 質疑応答ならびに協議 6 閉会挨拶(校長) 7 閉会宣言(教頭)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

資料説明; 令和2年度学校経営計画及び学校評価(案)の達成進捗状況

5 質疑応答ならびに協議

(委員)

アンケート評価結果のパーセントが上がっている。その評価結果が上がってきた感じとして何か考えられることはないか。

(学校)→コロナ禍の難しい状況の中、教員が生徒ファーストで考え教員と生徒とのやり取りを大事にし進めてきた。教員の頑張りや修学旅行の行き先変更、縮小した体育祭での生徒全員が頑張が見えたことなど多くの項目でプラス要因があったのではないか。

(委員)

授業外の家庭学習時間について、保護者のアンケートから課題が少なかったことと、宿題があまり出されていなかったことが読み取れる。学校からWebサイト等で情報発信がなされているが、学校側と保護者の意識の差があるので認識を合わせる方法はないか。また、塾に行けていない生徒の家庭学習への対応が課題ではないか。

(学校)→授業等で小テストを実施することが定着し、生徒も小テストの実施を認識して小テストの準備等で自身の理解不足の部分を補うための勉強が身に付いた。この習慣を来年度以降も授業以外の学習時間に結び付けたい。また、入学式、体育祭、文化祭等に保護者が参加していただいているので、行事の動画をリアルタイムで配信しようと努力している。しかし編集に時間がかかり、保護者が見たい時に配信できずにタイムラグが生じている。

資料説明; 令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)について

(委員)

令和3年度学校経営計画(案)について、当該年度に工夫されている項目についてご意見を伺いたい。

(委員)

北高アカデメイアについて参加者数よりも満足度を高めることに力点を置いたことを評価したい。また、保護者とのメール連絡により、より一層の連携をお願いしたい。

(委員)

保護者とのメールのやり取りの頻度はどのくらいか。

(学校)→平日と土日を含め4通ほどで頻度は少ない。担当者が連携し対応している。大阪府が構築している学習支援ツールのG suiteアカウントにログインし、HRクラスのG Classroomでオンライン授業やオンラインHRが実施できる体制を整えている。

(委員)

学校としてもいろんな項目に対し工夫がなされている。コロナ禍の対策についても長期的に考え、生徒ファーストを大事にし保護者と連携を継続してほしいことを申し上げて、令和2年度及び令和3年度の学校経営計画及び学校評価(案)を承認いたします。

(学校)→令和2年度学校経営計画及び学校評価(案)及び令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)について承認をいただき感謝したい。この後に残りの資料について説明したい。

資料説明 ; 令和2年度学校教育自己診断結果・令和2年度授業評価アンケート教科別結果

(委員)

コロナ禍での情報発信・挨拶運動については評価している。また、土日、冬場夏場のジャージによる登校の対応と通学時の制服着用の理由付を伺いたい。

(学校)→ジャージの着用の対応は中学校からの許可と習慣があった。保護者から制服のクリーニング期間にジャージを着用させたいとの要望がある。冬場は制服の上に防寒着の着用を許可している。生徒指導部からは本校は通学範囲が広く遠くからも通学しているのでどこの高校の生徒なのか分かることが大事と考えており通学時は制服着用としている。例年は通学時の制服着用について入学時に説明しているが、本年度は説明が十分にできなかった。

(委員)

小学校も学校教育のアンケートに保護者から「北高生の下校時の自転車のスピードが気になり」との記述があった。先日ライトの無灯火での事故が起きており、校区内の塾通いの生徒もいるため、「夜間のライトの点灯」、「スピードの出しすぎ」等の指導をお願いしたい。また、次年度の学校教育自己診断(生徒向)のアンケートについて「自転車ルールの厳守」を意識付ける内容の検討をお願いしたい。

(委員)

自転車ルール等アンケートの質問内容に「夜間のライトの点灯・スピードの出しすぎ」などの文言を入れ、再検討が必要ではないか。大きな事故にならないよう注意喚起の文書を作成し、配付の検討をしてはどうか。
また、自転車ルール等は生徒に渡しているのか。

(学校)→アンケートの質問内容について適切な文言を入れ、再検討を行いたい。

年度当初に、生徒指導部から自転車のマナー及びルール等を説明しているが、今年度は十分な説明ができなかった。
毎日の下校時に、夜間のライトの点灯・スピードの出しすぎに注意・並走の禁止等を校内放送を行っている。
また、期間を設定し、教員が何か所に分かれて下校指導を行っている。
いずれにしても事故が起こらないよう注意喚起を継続していきたい。

(委員)

次に「実務提要」について伺いたい。

(学校)→学校業務の分担を明確化するため実務提要を作成した。

作成から今年で10年目を迎えるため実態と合わなくなったところもあり、見直しが必要になり、プロジェクトを立ち上げ協議を開始した。

(委員)

コロナ禍の中、保護者及び生徒からの評価が高いことは学校の努力であり、評価したい。
その分の責任が重く期待が大きいため、進学等の明確な目標設定も大事になってくる。
今後も学校運営協議会委員全員で協力していきたい。

以上